



平成30年3月26日

各位

上場会社名 株式会社 アイビー化粧品
代表者 代表取締役社長 白銀 浩二
(コード番号 4918)
問合せ先責任者 常務取締役 経理部 部長 兼 経営管理部 部長 中山 聖仁
(TEL 03-6880-1201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年2月8日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,700	700	700	400	103.99
今回修正予想(B)	5,400	30	30	△180	△46.80
増減額(B-A)	△1,300	△670	△670	△580	
増減率(%)	△19.4	△95.7	△95.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	6,664	1,090	1,099	606	153.57

修正の理由

今期は2倍の組織作り、2倍の売上高を目指してまいりました。当第3四半期連結累計期間までの売上進捗が良くなかったため、当第4四半期における大型新製品「ホワイトパワーセラム」での挽回を予定しておりました。当社は月次の売上高の変動性が非常に高いという特長があり、年間売上高は9月と3月に売上高が集中する傾向があります。

販売会社からの「ホワイトパワーセラム」の注文状況は、当初予定数量100万本(売上高約35億)の半分にも届かない見込みとなりました。売上予算の大きい3月度の売上高減少の影響は大きく、通期売上高は前期比減収となる可能性が高くなりました。

そのため、通期連結業績予想につきまして、平成30年2月8日に公表しました「売上高」予想を6,700百万円から5,400百万円に下方修正致します。

また、当社は売上高減少率に対する利益減少率のレバレッジが高いという特長があります。売上高予想の修正にともない、平成30年2月8日に公表しました「営業利益」「経常利益」「親会社株主に帰属する当期純利益」予想もそれぞれ下方修正致します。「営業利益」につきましては700百万円から30百万円に、「経常利益」につきましても700百万円から30百万円に、「親会社株主に帰属する当期純利益」は400百万円の利益から180百万円の損失に下方修正致します。

なお、配当予想につきましては、現時点では平成30年2月8日に公表しました内容に変更ありません。

(注)当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の株式併合を行い、平成29年4月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、前連結会計年度の期首に当該株式併合及び株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算出しております。

以上